

令和元年6月18日現在

機関番号：15201

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2015～2018

課題番号：15K16430

研究課題名(和文)保健体育科教員養成における省察的授業モデルの構築

研究課題名(英文)Development of reflective lesson model in physical education teacher training

研究代表者

久保 研二(Kubo, Kenji)

島根大学・学術研究院教育学系・准教授

研究者番号：90594698

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、コルトハーゲンが提唱する、行為とリフレクションが代わる代わる行われるALACTモデルを利用し、小中学校教員養成における保健体育科教育法の授業改善を図るとともに省察的授業モデルを構築することであった。そこで、国内外の保健体育科教員法の授業やポートフォリオの活用に関する調査を行うとともに、それらの調査から得られた知見をもとにした4年間の保健体育科教員法の授業改善を実施した。それら2つの研究成果をもとに学生のリフレクション能力を育成する省察的授業モデルの構築を行った。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究の成果の学術的意義や社会的意義は、以下の3点である。

学生のリフレクションを促す保健体育科教育法の省察的授業モデルを構築により、他大学の保健体育科教育法における授業改善の参考となり得る。学生のリフレクションを促すことのできる保健体育科教育法の授業構成やポートフォリオの活用方法に関する知見を得ることができ、教員養成における体育以外の教科教育法にも還元できる。前述のことを通して、学び続けることのできる教員の養成に寄与することができる。

研究成果の概要(英文)：The aim of this study is to develop the reflective lesson model in physical education teacher training, using the ALACT model proposed by Korthagen. The following three studies were conducted to achieve the aim. The first is domestic and foreign surveys of the lesson in Physical Education teacher training and the use of the portfolio. The second is lesson improvement in Physical Education teacher training for four years based on the knowledge obtained from the survey. The third is the development of a reflective lesson model to improve students' reflection ability based on these two research results.

研究分野：体育科教育学

キーワード：リフレクション 体育科教育 授業モデル ポートフォリオ 教員養成の質保証

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19、CK - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

佐藤(1993)は、専門職としての教師は、「反省的实践家」(reflective practitioner)としての成長が求められており、この「反省的实践家」の中核をなすものがリフレクションであるとしている。「反省的实践家」は、Schön(1983)の、「行為の中のリフレクション(reflection in action)」の提案を契機に、新たな教師像として国際的に注目を集めてきている。さらに、日本教育大学協会が組織した「モデル・コア・カリキュラム」研究プロジェクトは、2004年にまとめた答申の中で、教員養成で養成すべき「実践的指導力」について、「教育実践を科学的・研究的に省察(リフレクション)する力」をその中軸に据えたとした。そして、この答申を契機に多くの教員養成を行っている大学において、リフレクションを新たに含んだカリキュラムの改革や授業改善が行われてきている。保健体育科教員養成の分野では、藤田(2011)が示すように、授業の中に模擬授業を取り入れ、その模擬授業の反省会を行うことによって、リフレクションの能力を向上させる取り組みが多く大学の大学で行われている。

このようにリフレクションを中心とした授業改善の取り組みが行われる中、これらリフレクションの対象は、他教科の教員養成を含め、学生の授業実践にのみ限定されている状況である。オランダの教師教育学者コルトハーヘンは、リフレクションの理想的なプロセスとして下記のようなALACT(5つの局面の頭文字)モデルを提案し、この第1局面の行為においては、授業実践だけでなく、理論を学ぶなどの認知的な学習も含まれるとしている。そこで、授業実践だけでなく、この認知的な学習においてもリフレクションを促すことのできる保健体育科教員法の授業内容、構成について検討し改善を図ることが求められると考える。また、近年、欧米において学習のリフレクションを促す道具として、ポートフォリオに注目が集まってきている。Zeichner(2001)らは、様々な実践研究の結果から、ポートフォリオを作成することによって、学生のリフレクションや学生の教師としての成長が促される効果があることを報告している。また、Bullockら(2002)は、ポートフォリオを通して、教員養成段階の学生が、教えるための知識の獲得や教えるための能力をまとめることができ、大学教員は、その学生がリフレクションすることを促進することができるとし、学生のリフレクションを促すだけでなく、学生を指導する大学教員の授業改善に活用できるとしている。そこで、保健体育科教員法の授業のなかで学生に学習ポートフォリオを作成させることで、学生のリフレクションを促すとともに、大学教員の授業改善のための資料として活用することも必要であると考えられる。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、ALACTモデルを利用し、小中学校教員養成における保健体育科教育法の授業改善を図るとともに省察的授業モデルを構築することである。

### 3. 研究の方法

本研究の目的を達成するために、次の3つの研究課題を設定して研究を進めた。

研究課題 ...国内外の保健体育科教員法の授業についての調査ならびにポートフォリオの活用についての調査を行う。

研究課題 ...学生のリフレクションを促す保健体育科教員法の授業内容、構成について検討し、授業改善を図る。

研究課題 ...学生のリフレクションを促す保健体育科教員法の省察的授業モデルを構築する。

研究課題 については、国内外で先駆的な取り組みを行っている大学に訪問調査を行い、保健体育科教員養成のカリキュラムや授業構成、リフレクションを促す方法、ならびに教員養成におけるポートフォリオ等のシステムに関する調査を行った。次に、研究課題 については、研究期間内に保健体育科教育法の授業を行いながら、研究課題 で得られた知見を活かすとともに、ポートフォリオや学生の意見を参考にリフレクションの能力の向上という点を主眼に授業改善を図った。学生の意見の収集には量的な分析を行うとともに、学生の対象を絞り、質的な分析を行う。これらの分析の際には、教員養成に長く従事する大学教員や大学院生も含めてメンバーチェックを行った。研究課題 については、3年次に、それまで得られた研究の結果から、学生のリフレクションを促す保健体育科教育法の省察的授業モデルを構築し提案を行った。

### 4. 研究成果

平成27年度(1年目)は、国内外の保健体育科教育法の授業ならびにポートフォリオの活用に関する先行研究や文献のレビューおよび調査を行った。また、学生のリフレクションを促す保健体育科教員法の授業内容、構成について検討し、授業改善を図るため、保健体育科教育法の授業改善のPDCAサイクルの1サイクル目を実施した。その中で、次年度の授業改善のために、授業の効果測定として、授業受講者に対するアンケートならびにインタビューを実施した。

平成28年度(2年目)は、前年度に引き続き、国内外の保健体育科教育法の授業ならびにポートフォリオの活用に関する先行研究や文献のレビューおよび調査を行った。特に、The University of Melbourneでの訪問調査においては、リフレクションを基軸にした教員養成の取り組みや質保証に向けた取り組み、ポートフォリオのシステムについて意見交換を行い、省察的授業モデル開発に向けて有用な情報を得ることができた。また、World Association of Lesson Studies (WALS) International Conference 2016に参加し、成果を発表するとともに

省察的授業モデル開発に向けた情報収集を行った。さらに、前年度の調査をもとに、学生のリフレクションを促す保健体育科教員法の授業内容、構成について検討し、保健体育科教員法の授業改善のPDCAサイクルの2サイクル目を実施した。また、前年度と同様に、次年度の授業改善のために、授業の効果測定として、授業受講者に対するアンケートならびにインタビューを実施した。

平成29年度(3年目)は、前年度までに実施した国内外の調査および保健体育科教員法の授業をもとに、学生のリフレクションを促す保健体育科教員法の授業内容、構成について検討し、保健体育科教員法の授業改善のPDCAサイクルの3サイクル目を実施した。その際、前年度までと同様に、授業改善ならびに授業モデル構築のために、授業の効果測定として、授業受講者に対するアンケートならびにインタビューを実施した。さらに、これらの研究の成果について、World Association of Lesson Studies (WALS) International Conference 2017ならびにWERA Focal Meeting & HKERA International Conference 2017等の学会にて発表を行うとともに、省察的授業モデルの構築のための情報収集を行った。また、一部の研究成果をスポーツ教育学研究に掲載した。これらの結果をもとに、小中学校教員養成における保健体育科教員法の省察的授業モデルの構築を行った。さらに、それらの成果を発信するために、海外から研究者を招聘し、シンポジウムを開催した。シンポジウムでは、構築したモデルについて紹介するとともに、招聘した研究者ならびに国内から参加いただいた研究者から改善に関する有益な情報交換を行うことができた。

本来、平成29年度(3年目)で研究を終了する計画であったが、昨年度、海外から研究者を招聘して開催したシンポジウムにおいて、構築した省察的授業モデルについての有益な改善情報を得られたため、1年研究期間を延長して実施した。そのため、平成30年度(4年目)は、前年度までに実施してきた保健体育科教員法の授業ならびにシンポジウムでの指摘を参考に、学生のリフレクション能力向上を図るための保健体育科教員法の授業改善に関するPDCAサイクルの4サイクル目を実施した。この保健体育科教員法の授業を履修した学生のリフレクション能力の変容について考察するため、アンケート等の量的調査ならびにポートフォリオのリフレクションの記述内容およびインタビュー等の質的調査を実施した結果、リフレクション能力の向上を見て取ることができた。また、この授業改善は、大学教員の授業力向上のためのポートフォリオ活用という点でも成果を残せたと考える。さらに、この保健体育科教員法の授業、および今までの研究成果をもとに、小中学校教員養成における保健体育科教員法の省察的授業モデルの構築を行った。

これらの研究結果を経て構築した省察的授業モデルは、教員養成における体育以外の教科教育法にも還元できるものであると考える。

#### <引用文献>

- Bullock, A. A. and Hawk, P. (2002) Development a Teaching Portfolio: a guide for preservice and practicing teachers. Prentice-Hall  
中央教育審議会答申(2008)「学士課程教育の構築に向けて」  
藤田育郎(2011)『体育科教育学の現在』創文企画  
Korthagen, F.A.J. (1985) Reflective teaching and preservice teacher education in the Netherlands. Journal of Teacher Education, 36(5), pp.11-15.  
Korthagen, F.A.J. (2008) Linking Practice and Theory. Routledge.  
日本教育大学協会(2004)「教員養成の『モデル・コア・カリキュラム』の検討 - 『教員養成コア科目群』を基軸にしたカリキュラムづくりの提案 - 」  
佐藤学(1993)「教師の省察と見識: 教職専門性の基礎」日本教育学会編『日本教育学年報2』。日本教育新聞社  
Schön, D. A. (1983) The reflective practitioner, How professionals think in action, Basic Books.  
Zeichner, K. and Wray, S. (2001) The teaching portfolio in US teacher education program: What we know and what we need to know, Teaching and Teacher Education. 17(5): 613-621

#### 5. 主な発表論文等

##### [雑誌論文](計 2件)

- Kazuki OSEDO・Kenji KUBO・Hiroschi NAKANISHI(2019) A Content Analysis of Self-Assessments by Pupils using Videos in Physical Education Classes at an Elementary Schools: Focusing on Relationship with Instructions Given by Teacher, International Journal of Curriculum Development and Practice, 21, 査読有, pp.27 - 38  
名越由佳・久保研二・伊藤豊彦(2018) 体育授業における生徒の動機づけに及ぼす教師の働きかけの影響に関する実践的研究 - 自己決定理論からの分析 -, スポーツ教育学研究, 37巻2号, 査読有, pp.61-74

##### [学会発表](計 7件)

- 石橋奎吾・久保研二(2018) 中学校体育授業における学習者のリフレクションの変容に関する

る研究 - ルーブリックの活用に着目して - . 日本スポーツ教育学会第 38 回学会大会  
黒瀬拓志・久保研二 (2017) 特別支援学校における球技領域の効果的な指導方法の検討 . 日本スポーツ教育学会第 37 回学会大会  
Kenji Kubo・Takashi Yonezawa・Hideo Miyaki・Yuka Nakai (2017) An Instructional Reform at Teacher Training Universities in Japan: Compiling Teacher Students' Paths to Learning. WERA Focal Meeting & HKERA International Conference 2017  
Kenji Kubo・Seiichiro Kihara (2017) The Meaning and Issues about Lesson Study on Physical Education for School Training in Japan. World Association of Lesson Studies (WALS) International Conference 2017  
Seiichiro Kihara・Kenji Kubo (2016) The learning process of classroom teachers on elementary school physical education: focusing on analysis of conversation at a colloquium after a research lesson. World Association of Lesson Studies (WALS) International conference 2016  
名越由佳・久保研二・伊藤豊彦 (2016) 体育授業における子どもの動機づけに及ぼす指導の効果に関する研究 . 日本スポーツ教育学会第 36 回大会  
久保研二・西村覚 (2016) 教員養成段階の学部生における「行為の中のリフレクション」の実態に関する一考察 . 日本スポーツ教育学会第 36 回大会

〔図書〕(計 1 件)

木原成一郎・大後戸一樹・久保研二・村井潤 共編著 (2019), 改訂版 初等体育科教育の研究, 学術図書出版

## 6 . 研究組織

(1) 研究分担者

なし

(2) 研究協力者

研究協力者氏名 : 木原 成一郎

ローマ字氏名 : (KIHARA, Seiichiro)

研究協力者氏名 : 大後戸 一樹

ローマ字氏名 : (OSED0, Kazuki)

研究協力者氏名 : 西村 覚

ローマ字氏名 : (NISHIMURA, Satoru)

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属されます。